

議 事 要 旨 (公開用)

- 件 名 令和元年度第1回月形町創生総合戦略審議会
 - 日 時 令和元年7月30日(火) 午後4時55分～7時10分
 - 場 所 月形町役場 大会議室
 - 出席者 委員：14名(別紙のとおり) ※ 欠席：1名
オブザーバー(空知総合振興局地方創生部)：2名
町：上坂町長、堀副町長、古谷教育長、ほか9名
 - 傍 聴 1名
- =====

○ 委嘱状交付

【進行：企画振興課長】

【委嘱状交付：上坂町長】

※ 町長より各委員へ委嘱状を交付

1 開 会

【進行：企画振興課長】

2 町長挨拶

【挨拶：上坂町長】

- ・ ここ2、3日は大変暑く、猛暑の中、しかも17時という1日のお仕事が終わるこの時間帯にお集まりをいただきまして、本当にありがとうございます。
- ・ そして、ただいま委嘱状をお渡しさせていただきましたけれど、本日から令和3年7月29日の2年間という任期で、それぞれ皆さんは要職を担われます。また、町内から委嘱をさせていただいた多くの方々は、この他の委員会などの委員もお願いをしているような状況の中で、本当に大変申し訳なく思っております。
- ・ 月形町の創生総合戦略は、平成28年2月に第1期の計画を策定し、本年度に計画期間を終了します。国では、引き続き切れ目のない創生総合戦略事業が必要とのことから、第2期の創生総合戦略の策定が進められ、過日、基本方針が閣議決定されました。
- ・ 本町においても、こうした国の動きを踏まえ、第2期の創生総合戦略の策定をすることとしました。計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間であります。
- ・ 私は、国のこうした制度もありますが、80年間続いた札沼線の廃線を受け入れしました。そして、平成13年6月に縁があって、この月形の障がいのある人たちの施設長としてこの月形に来ました。

- ・ 約3年前、15年間お世話になった私の大事な施設の利用者である約80人の人たちは、8歳から10歳のときに知的なハンディキャップがあるということで、この月形の雪の聖母園という障がい者の施設に来て、本当に50年以上も月形のまちの皆さんに支えられました。障がいがあっても同じ町民としてしっかりと共に支えていただき、そのようなことのお礼も含め、私は月形のまちが大好きになりました。
- ・ そのような意味からも、私の人生は三つの命だと思っています。母親のお腹の中に私の命が宿る「宿命」、これまでのいろいろな二つ目の命「運命」を神様から与えられ、この月形に来ました。そして、三つ目の命「使命」を神様から与えられ、町民の多くの皆さんから支援をいただいて、町長になることができました。
- ・ また、札沼線という重い決断をしました。人口も平成13年からみると本当に少なく、3千人ちょっとのまちになりました。しかし、私は月形のすばらしい自然と歴史、北海道開拓の先人を担った樺戸集治監の囚徒の人たちの思いやいろいろな立場の人たちが共に支え合い、思いやりや優しさでまちづくりをしていくことを脈々と受け継いできているこの月形のまちを私はもっともっと誰もが安心して、罪を犯した人も豊かに暮らせる共生のまちづくりをしていきたい。
- ・ 少年院が閉園になりますけど、私は少年院に入所された子どもたちに、町民がこれまで一緒にどんな取り組みをしてきて、自立更生の支えになっているかを経験させていただき、話を聞かせていただいています。
- ・ そのようなすばらしいまちをややもすると、人口減少、高齢化、商店も無くなる。農業の後継者もない。「こんなまち」とそんな表現をする人もいますけれども。私はこんなすばらしい歴史と自然のあるまちは、全国にそんなにないというように思っています。私は月形に来るまで生まれ育った留萌管内の羽幌町から始まり、中学を卒業してから神奈川県横須賀の自衛隊に入り、これまでいろいろな経験をしてきました。その中で私はこの月形のまちが大好きです。
- ・ どうか「国が作らなければならない」、だから、第2期の創生計画を作るということではなく、本当に皆さんには、とても大変なご判断や私に対するご意見等をいただくこととなりますけれども、どうか私の想いも含め、月形町民の多くの人たちの願い、夢、希望、そして、一番弱い人の立場に立って、これからの月形のまちづくりのために、短い期間でお忙しい中での審議会になりますが、よろしくお願いをしたいと思います。
- ・ 単なる人口減少の抑制だけでなく、私は心から「月形の町民が月形に生まれて良かった」、「月形で育って良かった」、そして、「月形を職場に選んで良かった」とそのように思ってもらえるまちづくりをお願いしたいと思います。
- ・ 私はこの3年間、月形小学校の子どもたちが「町長さん月形が一番大好き」、「月形のためにいろいろなことを考えたい」、「中学校にいても月形のことをしっかり考えるよ」と。今年の3月に中学校を巣立った少年は、自分の目標で本州の高校へ進学をしましたけど、

私が札沼線の廃線を決断したテレビのニュースを見て、次の朝の登校のときに自転車で、役場に前に立っている私のところまで来て、「町長さん昨日は大変だったね、辛かったね、でも町長さん、頑張ったね」と、こんな言葉を次の朝掛けてくれました。私は、飛び跳ねるように、そして、涙でいっぱいでした。こんなまちの人たちの想いや子どもたちの願い、それらもしっかりと皆さんに受け止めていただいて、第2期の総合戦略の計画をどうぞ、どうぞよろしく願います。大変長い挨拶になり、駄弁を申して申し訳ありませんけど、本当にどうぞ2年間よろしく願います。

3 委員紹介

【進行：企画振興課長】

※ 委員、オブザーバー、町職員の順に紹介

4 正副会長の選出について

【進行：企画振興課長】

【審議会条例説明：企画振興課長】

資料37・38ページに基づき説明

[会長選出]

【進行：上坂町長】

- 一 ●（上坂町長）委員の皆さんの方からどのような形で会長を選出するか、ご意見等を伺いたいと思います。
- （對馬委員）初顔合わせということで、皆さん初めてだと思いますけれども、町全体をみまして推薦をさせていただければと思っています。コミュニティワークの穴澤さんをご推薦させていただきたいと思うのですが。
- （上坂町長）ただ今、對馬委員から推薦がありましたので、皆さんの意見を伺います。ただ今、コミュニティワークの穴澤委員に会長をとということで、ご推薦がありましたけれど、よろしいでしょうか。
- （上坂町長）特にご意見がなければ、拍手で承認をいただきたいと思います。
- （全員）[拍手]
- （上坂町長）ありがとうございました。穴澤委員、満場一致でお引き受けいただけるということで、よろしいですね。
- （穴澤委員）はい。
- （上坂町長）これで私も会長が決まりましたので、皆さんにお願いをしたいと思います。会長については、穴澤委員にお引き受けいただきたいと思います。

【挨拶：穴澤会長】

- （穴澤会長）改めまして会長ということで、本当に若輩ものでございますが、よろしく願います。

[副会長選出]

【進行：穴澤会長】

- 一〇（穴澤会長）私の役目は、副会長を選出しないといけません。副会長を選びますが、ご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。
- 〇（對馬委員）会長が決まりましたので、会長のご推薦といたしますか、ご指名いただければありがたいと思います。
- 〇（穴澤会長）そのような意見がありましたので、私がこの方にとということで、ご指名をさせていただいてもよろしいでしょうか。
- 〇（全員）はい。
- 〇（穴澤会長）尾崎さんをお願いしたいと思います。
- 〇（尾崎委員）はい。
- 〇（穴澤会長）それでは、会長が私、副会長に尾崎さんという形で2年間進めさせていただきたいと思います。

[諮問]

- ※ 町長より会長へ諮問書を手渡し
- ※ 諮問後、町長退席

【説明：企画振興課長】

諮問内容について、諮問書の基づき説明

5 議 事

【進行：穴澤会長】

- 〇（穴澤会長）月形町の創生総合戦略とは何かという辺りも含めて事務局の方から説明願えればと思います。

【説明：企画振興課長】

月形町人口ビジョン及び月形町創生総合戦略（概要版）に基づき説明

（P－3）

- ・ S 5 8：刑務所開庁
- ・ H 1 9：刑務所大規模増築
- ・ 国勢調査ベースのため、月形刑務所受刑者の人口を含む。

（P－4）

- ・ 昼間の人口が325人多く、この部分についてはなかなか克服できていない。
刑務所や福祉施設に勤務し、町外に住まわれている方なども多い。

（P－7）

- ・ 刑務所や福祉施設に勤務する若い方は多い。
- ・ 若者層が多いこともあり、本町の出生率は低い。

(P-8)

- ・ 国勢調査の数値を基に推計しているため、平成27年度のスタート時点より実際の人口は200程度少ない。
- ・ 2020年の推計3,598人に対し、現在は3,100人強となっており、推計より人口減少が速く進んでいる。
- ・ 計画策定以降は、毎年100名程度の推移で減少
- ・ 転出の1/4程度は、刑務所関係の方となっている。

(その他)

第2章の月形町創生総合戦略については、次の議事で説明

(1) 月形町創生総合戦略事業の効果検証等について

ア 平成30年度までの施策実施状況について

【説明：企画係長】

資料1～25ページに基づき説明

- ・ No.1・3～9・11・13・18～24・29～31・33・36～39・42～45・47・51・53～56
- ・ 事業については、多数実施していますが、地方創生の目的でもある「仕事をつくり、人を呼び、出産等の希望を叶える」、その一番初めの「仕事をつくる」というところがなかなか難しい状況

【質疑】

- (穴澤会長) 今の施策の実施状況についてということで、ご質問・ご意見等いかがでしょうか。
- ー○ (尾崎副会長) 16ページですけど、私のところでやっている「ふれあい見守り推進事業」についてです。この評価で確認したかったのは「孤立死」について、どうだったら「孤立死」というカウントになるのかを確認したかった。今後の方向性でKPIが増えていないというのは、サポーターさんが増えていないからですけども、実はその増えていない理由に、見守り対象者がものすごい勢いで減っているんですよね。27年度的时候は90人くらいいたはずですけども、30年度では60人に減っているはずですよ。そこで担い手さん自体がちょっと増えていかないという現状があって、その辺りの方向性が入っていなかったんで、どういように見ていったらいいかなど、自分のところで行っている事業なものですから。ちょっと考えたんですけども、「孤立死」の条件というか、こうなったら「孤立死」のカウントだよというのをちょっと教えていただきたい。
- (穴澤会長) どうでしょうか。
- (尾崎副会長) 今でなくてもいいんですけど。決してゼロというはずじゃないと私は思っていたんですよ。というのは、何日以上見つからなくて、「孤立死」とい

うカウントをすれば、ゼロかもしれないですけども、お一人で亡くなっていたというケースは年に1～2件はあるはずなんですよね。そこをゼロというようにしているというのが、何か決まりがあるのかなど、ちょっと思ったので、それを教えてほしかったんですよね。今じゃなくてもいいです。

○（穴澤会長）ということでございますので、今すぐ回答するというのではなくていいですよ。実際、「孤立死」というので、全国でも調査とか入ってまして、一応一定の国の基準はありますよね。それを月形町としてどのようにという話ですね。そこを明らかにというところで。

●（企画振興課長）私も総務課長もだいぶ前ですので。確か、亡くなって次の日に見つかったというようなところでは、「孤立死」としないとか。確か3日とか、何日という形で空いた場合に「孤立死」というような調査が毎年ありました。私たちがいた頃には、お婆ちゃんのところの新聞だとか、窓が開かないとかという形で、そうは言っても、その期間以内の中では発見されたというようなことで、規定の中では「孤立死」ではないという、ちょっとはつきり今は日にちが分からないので、次回までには保健福祉課の方で調べて答えていただきたいと思っています。

●（企画振興課長）見守りの関係ですね。実は高齢化の率は上がっていくけれども、28年、29年くらいから人数としては、高齢者の方の人数は減ってきていると思います。

ただ、見守りの件につきましては、ご指摘のとおり、それよりも対象者の方が少なくなっている。必要な方の把握や同意が進まず、亡くなっていく方もいらっしゃる。ある時は80人や90人いても、亡くなっていたり、転出されたりして減っていきます。また、新たに高齢になる方がいますので、そんなに減らないと思うのですが。少しその辺りのところの呼びかけなりがどうなのかという点もあるのかとは思いますが。この辺りについては、毎年、どのような取り組みか分かりましたら、お願いします。

●（保健福祉課長）大変申し訳ありません。この4月に保健福祉課にきたばかりで、次回までにお答えできるようにしたいと思います。

一○（梅木委員）12ページのこの辺りの施策というのは、おそらく子育てとかその辺りに関する施策だと思うんですけども、結婚している人の出生率というのは、調査していますか。どういうことかという、この辺りの施策というのは、結婚して産んでもいいかなというような施策だと思うんですけども。結婚している子どものいない人が、子どもを産んでも大変じゃないから産もうかなという施策だと思うんですけども。イメージでしかなく数値で分かんないんですけども、月形に住んでいる人の結婚している人は、結構、子どもがいる気がするんですよ。結婚したら子どもを産むという家庭が多いと思うので。例えば、出生率を上げるという

意味で必要なのは、こういう施策ではなくて、結婚していない人を結婚させたり、子どもがいるような家庭をまちに来させたりということが大事なのかなと思うので、結婚している人の出生率の調査があるのかなというのがちょっと気になる。

- （企画振興課長）そのとおりだと思います。先ほど私からも言ったとおり、結婚されている人は、月形でも二人とかお子さんを産んでいるのではないかなと思います。出生率が低いのは、先ほどの要件で人口が少ないと言いながらも、他のまちに比べると若い人が多いので、未婚の人が多い。当然、出生率も下がってくるのだらうと思います。結婚をしてもらうための施策というところは、なかなか制度的に作っていくのは難しいというのがあります。

藻谷さんという研究者は、今は子どもを産まないという権利と言いましょか、下手なことをいうと国会議員の方もすごく追及されるような時代です。研究者の中では、そういう方を尊重して、産んでもらえる環境の人にいかにも多く産んでもらえるかということに、それを社会全体でサポートすると。結婚していない方も、結婚してお子さんを作らないといった人も、何十年か後には、そういったお子さんに支えられて生きていかななくてはいけないということで、それをそこまで意図してこういった施策を展開したかどうかというのは、ちょっと別問題ですけども。一人、二人でいいよというような人が、こういった制度によって三人産んでも生活していけるなというようなところの補助事業という形で、事業や政策として展開しやすいというところも否めない事実だと思います。重要な点は、結婚する機会を作っていくという方が重要だらうと思います。なかなかうまくいかなかったというのがあります。

- （梅木委員）結婚していく世代、結婚の施策をするっていうのも必要だと思うんですけども、結婚した世代が移住してくるっていうことも重要なことだと思ひまして。出生率を1.4から1.8にするというのは、相当厳しい数値だなというようには感じていて、もし、1.8に上げるというならば、この施策だと上がらないというように自分は感じたんですよね。ですので、今後、話し合いをしていく上で1.8に上げるっていうようにしていくなら、もっと思い切った施策が必要なんじゃないかなと感じました。
- （穴澤会長）ご意見としてということですよ。次回、2期の施策の中にたぶん活かせるようなご意見かなというように思います。

イ 「重要業績評価指標(KPI)」の評価及び本町人口の推移について

【説明：企画係長】

資料27ページに基づき説明

（全体）

- ・ 国の4つの基本目標に対して設定した数値目標を達成しているものや「合計特殊

出生率」、「出生数」のように達成の難しいものなど様々あります。

- ・ 結論としては、着実に人口は減少しており、人口減少に歯止めが掛かっているとは言えない状況となっています。
- ・ 数値については、今ほどの説明のとおりですが、全体として戦略を考えていく上で、戦略が機能していないのか、後に効果が表れるのか、目標数値やK P Iの設定および関連性がどうなのかなど、明確な判断が難しい状況と考えています。
- ・ 第2期の策定と併せて、第1期の効果検証も進めていきたいと考えています。

【質疑】

- （穴澤会長）ご質問、ご意見いかがでしょうか。
- （堀副町長）もう一度、この総合戦略の作りについて確認です。今、27ページの説明がありました。この戦略とK P Iというのは、それぞれ4つの区分になっています。27ページを見ていただくと、「1. 産業を元気にして雇用を育む」とかとあり、全部で4つあります。これは、国のまち・ひと・しごと総合戦略の目標になります。それと同じように、それぞれその分野で目標を達成し、この概要版の人口ビジョンでいうと8ページ2060年に月形が刑務所の収容者の人口を除いて、1,500人にいけるという目標なんです。それが、どうであったかということを検証するということです。先ほどの梅木さんのご質問があったところは、概要版でいくと11ページになります。目標で「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ということで、どういう施策をするかというのが、この下に書いてある「具体的な事業」というところになります。これらを実施して、月形がその時は出生率が1.22でしたけれども、戦略を立て1.5人にしようとしています。1.8にしようとはしていませんね。こういうのを全部足していくと、国で2060年には1億人程度いなければならない、そうしないと日本がもたない。その目標年に月形では1,500人になるという作りでできているということです。おさらいということでお話をさせていただきました。
- （穴澤会長）K P Iにこだわらずに、30年度の振り返りの部分でのご意見、ご質問等、今日はたぶんこちら辺がポイントだろうと思っています。ここでご意見をいただいて、次回からの第2期に向けての計画に着手していくというような形になるかと思いますが、いかがでしょうか。大体、書いてあるとおりで、そうかなということであれば、それで、OKでございますが。いかがでしょうか。
- （穴澤会長）よろしいですか。
- （全員）はい。

（2）第2期月形町創生総合戦略事業について

【説明：企画振興課長】

資料33・34ページに基づき説明

- ・ 効果のないもの、必要性の薄いものなども踏まえ見直しを行っていききたい。
- ・ アンケート調査についても実施します。

【説明：企画係長】

資料 3 5 ページ及び資料 1 に基づき説明

(P-35)

- ・ 総合振興計画の前期基本計画（5年）も本年度で終了する。
総合振興計画の後期基本計画（5年）も第2期の総合戦略と並行して策定作業を進めている。
- ・ 両計画ともに、株式会社ぎょうせいの委託支援を受けて策定作業を進めている。
- ・ アンケートについては、総合振興計画と総合戦略の両方を兼ねて1つのアンケートとして実施している。

(資料1)

1～3 ページに基づき説明

- ・ 国の基本方針の概要版であり、一般に公開されている。
- ・ 国の戦略の状況については、出生率の低い「東京への一極集中を是正し、人口減少に歯止めをかける」ことを目標としていましたが、東京への一極集中は止まらず、東京への転入超過は継続している。また、人口減少についても歯止めが掛かっていない。
- ・ 国の人口ビジョンは、第1期の策定時と状況に大きな変化はない。このため、人口ビジョンについて大きな変更は行わない予定

【人口ビジョン維持：(合計特殊出生率)】

現在：1.42→2030年：1.8→2040年：2.07→2060年：1億人程度を維持

- ・ 国や北海道の総合戦略を踏まえながら、本町戦略を策定します。
- ・ 第1期については、おおよその施策事業を交付金対象事業として見込んでいました。実際には、要件が厳しくなり2年目以降の交付金は活用できていません。

官民協働、自立性、先導的な事業というところで交付金の活用が難しくなっています。民間を主体に自立して地域経済に波及していく先進的な事業をどのように行っていくかが課題となっています。

- ・ このような状況を踏まえ、戦略の効果、数値目標、KPIの設定、事業数、事業内容など財政負担等を考慮した中で、第2期戦略の策定をどのように進めていくか、現段階でご意見等があればお伺いし、素案の作成に役立てさせていただきたい。

【質疑】

- (穴澤会長) 第2期の部分の説明について、ご意見、ご質問いかがでしょうか。
- 一○ (齋藤委員) 第1期の平成30年度の人口ですけれども、29ページに人口及び戦略の目標ということで、30年度末で3,160人、達成率87%ということになっています。本来の目標値は、3,629人とだいぶ乖離し、500人近く離れているの

かなと思います。

2期に向かって人口ビジョンを2060年に1,500人という数値は、目標として変えないということですが、実際にその出生率1.5をそのまま維持した状態で2060年に1,500人として向かっていけるのか。変更しなくても、今まで通りの目標で達成できるのかについて、そこら辺をお聞きしたい。

- （穴澤会長）現時点でということですよ。いかがですか。
- （堀副町長）2060年の目標を国は変えないということです。全国の各市町村が見直す人口ビジョンは、変えてもいいんです。
- （齋藤委員）それは変えるつもりはあるんですか。町としては。
- （堀副町長）推計をし直しますので、それをみてからになります。前回の人口目標をやるときもそうでしたけれども、最初の推計では、1,000人に満たなかったんですよ。月形が1,000人もいないまちでどうなんだろうというのがあり、なんとかもう少し増やそうということで目標値を変え、そうなるような施策を作ったということもあるんです。ですから、希望感や期待感でそのようにすることもあります。今の1,500人というのは変わるのかということですけども、私の個人的には変わっていくのかなという気はします。
- （齋藤委員）1,500人というのは、出生率1.8で計算でしたか、1.5での計算でしたか。
- （堀副町長）途中で1.8に上がり、人口が減らないという全国の2.1にするというビジョンです。
- （齋藤委員）次期にあたっては、それは無理ですよ。どう考えても。
- （堀副町長）そこら辺は、町で原案を作りますけれども、いろんなご意見をいただいて、どのような設計をしたらいいかということをご審議いただく、ご意見いただくということになります。
- （齋藤委員）人口が減るのは非常に悲しいですけども、とてつもない大きい目標よりも、できる目標をある程度のところで計算してもらって、「実際増えたよ」ということの方がうれしいのかなと思います。少しそこら辺は考えてほしいと思います。
- （堀副町長）ちょっと個人的ですけども、2060年の目標人口があっても実際はピンとこないんですよ。2060年に向かって1,500人、それに向かってこれをやろうというよりも、もうちょっと。
- （齋藤委員）5年とか10年とか。
- （堀副町長）戦略は5年間のスパンで、2060年に設定する人口は必要ですけども、それよりももう少し直近で何とか維持していこうだとかということに集中した方がいいような気がするんですよ。
- （齋藤委員）あと、昼間の人口は、他のまちから入ってこられるので、なるべくそう

いう方々を定住していただくような形、なかなか難しいですけれども、取ればいいのかと思っております。

○（穴澤会長）というご意見ですね。

- －○（梅木委員）今の話ですけれども、前回の5年前のものを全部見たんですけれども、全体として、絞り切れていないなという考えが強くて。人口が1,500人に向かっていくというのは、誰もが2060年の1,500人というのを想像できないと思うんですよね。それを何で人口が減ったらだめなのかというのをもう少し考えないと。曖昧なままでいったら、今やっていた5年間の施策も、自分から申し訳ないですけれども、全部曖昧に「ふわっ」とやって目標に向かっていない感じがすごくする。

それで、今、一番考えなければいけないと思うのは、この3ページの中に2040年までの将来推計と書いてあり、老年人口が増えているんですね。2015年から300人くらい増えているんですけれども、生産年齢人口が2,000人減っているんですね。これって相当まずいんじゃないかなと。2040年の生産人口で20歳から60歳くらいの人が1,000人くらいしかいないのに対して、老人が2,000人いるというのは、まちとしては、もう機能しないと思うんですよね。その状態時点では。つまり、人口全体を考えるのではなくて、もっと、生産人口と子どもの数をどう増やすかということに焦点を絞らないと、曖昧なまま行って、曖昧な施策しか出ないんじゃないかなというように思って。次回やるときには、もっとどこに集中して、集中したところにどういった施策を立てていくのかというのを考えないと、また、結果が出ないのではないかなと思います。

○（穴澤会長）ありがとうございます。この人口ビジョンと国の方針が大きくある。それに合わせながら、たぶん、合わせた形で作りながら、それをいかに月形町として、現場に合った形にしていくのかというようなことなんだろうというように思います。

○（穴澤会長）空知総合振興局からお越しいただいておりますので、部長の方から今後の計画を含めてのアドバス等々あれば、お願いします。

○（空知総合振興局：名苗部長）議論ありがとうございます。人口減少は、北海道全体でいえば、平成27年540万人から下がってきているという状況ですけれども、市町村単位では、月形町さんもそうですけれども、昭和の時代から減少しているということで、多くの市町村が昭和の時代から人口が減少しているという状況にあります。そんな中で各市町村は、人口をなんとか維持し増やしていこうということで、様々な取り組みをこれまでもやってきています。ただ、その取り組みをやっていても人口減少は続いてきているというのが状況であると思います。

北海道の中でも、札幌市はずっと増えてきてはいますけれども、札幌市でさえも転出超過というような状況になっています。若者が進学だとか就業のときに首都圏へ行ってしまおうというような状況になっていまして、道内の札幌集中もあれば、札幌も逆

に首都圏へ人口が取られているというような状況になってございます。

国の地方創生総合戦略も今は5年目になりますが、なかなかその5年で人口減少を食い止めたり、改善に向かうというのが難しいことなんだろうなということで、第2期目の計画ということになってございます。その2期目の継続でさえ、10年という短い期間でどれだけ各市町村や都道府県がその計画通りにいくかというのが、なかなか難しいのではないかなと思いますけれども、ただ一つ、これまで行政というのは、計画を作ってそれでまちづくりを進めてきた訳でございまして、この目標値であったりKPIということで、振り返りながら次の計画を作って取り組みを進めていく、また、行政だけではなくて地域の民間団体であったり、地域の方々に参画していただく中で、どういった取り組みをやっていくというのが、重要ではないのかなと思います。また、月形町さんでいえば、満足度の数値をKPIに入れていただいているところが、一つ町長も言うておりましたが、「このまちに暮らして良かった、このまちで生きていてよかった」ということに繋がるのではないかなと思います。ぜひ、そうした計画が作られることを期待したいところでございます。ありがとうございました。

(3) その他

- 次回、審議会の開催日程について

【説明：企画係長】

- ・ 次回、10月の開催を予定しています。
- ・ 第2期の素案について、審議を予定しています。

審議会の開催に関わらず、ご意見等を企画係までお寄せいただければと思います。

6 閉 会

【挨拶：穴澤会長】

- ・ 次回は、10月になります。スケジュールの中にもありましたが、第1期の評価と第2期の戦略諮問ということになりますので、できるだけ説明も含めてですけれども、議論できる場を作っていければなと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

【閉会：企画振興課長】